

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年12月10日

【2018年12月1日～2018年12月7日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。また、2年国債金利は低下しました。ブラジル・レアルは米中貿易摩擦など外部要因に左右される展開が続きました。

米中首脳会談にて両国が新たな関税適用の見送りと貿易交渉強化で合意したことで、週初はリスクオンの動きが進み、ブラジル・レアルは上昇しました。しかしその後、中国のファーウェイ・テクノロジーズの副会長が米国の対イラン制裁に違反した疑いで逮捕されたことを受け、リスクオフの動きに転じブラジル・レアルは下落しました。

経済指標に関しては11月のPMI(購買担当者指数)やIPCAインフレ率などの発表がありました。PMIは、製造業・サービス業・コンポジット(製造業とサービス業の複合)の3指標全てで前月を上回り、好調を維持しています。また、インフレ率は前月・前年比ともに低下し、市場予想も下回りました。インフレ率が予想以上に低下したことがブラジル金利低下の追い風になったと考えられます。

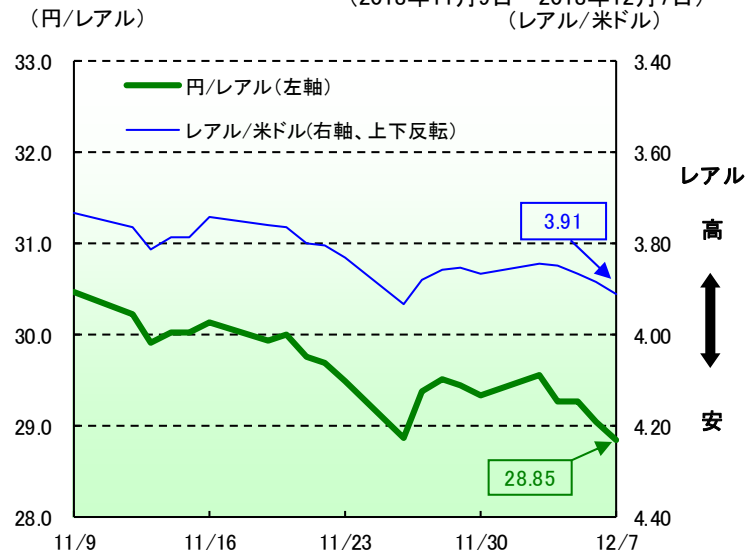
### 【2】今週の見通し

今週は、小売売上高などの経済指標の発表が予定されています。また、ブラジル中央銀行からは政策金利の発表が予定されていますが、市場では据え置き予想が大多数となっています。

年金改革に関してボルソナロ次期大統領は、改革を一度に行うのではなく、段階的に行っていく意向を示しました。段階的改革では受給開始年齢の変更から議論を始めるとされています。また、憲法改正の妨げとなっていたリオ州の直接統治令についても延長をしない(期限は2018年末まで)意向を示しました。しかしながら、議会が始まるのは来年2月であるため、年金改革について動きがあるのは早くとも2019年前半になると考えられます。それまでブラジル・レアルは、外部要因に左右される展開が続くそうです。

### 【ブラジル・レアル 為替推移】

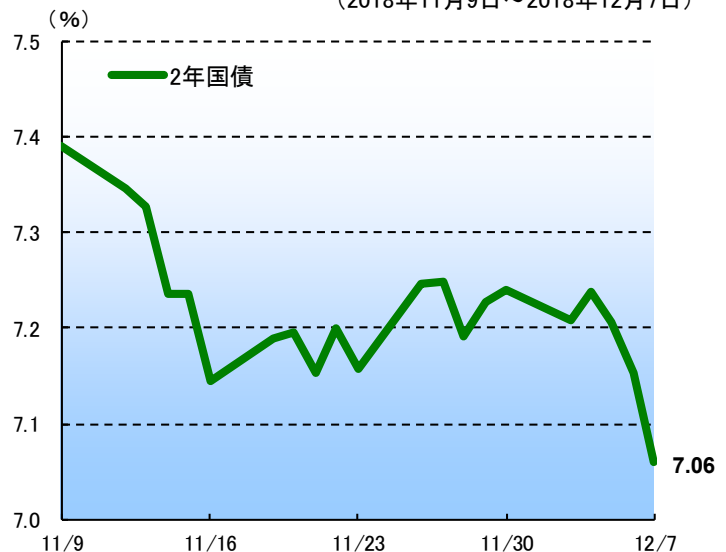
(2018年11月9日～2018年12月7日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【ブラジル 金利推移】

(2018年11月9日～2018年12月7日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management